

平成 24 年度

事業報告書
決算報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

一般社団法人日本オーディオ協会

平成 24 年度事業報告書

(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

本協会は定款の目的に従い、豊かなオーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造することを目指して、オーディオ及びオーディオ・ビジュアル（以下オーディオ等）に関する調査及び研究、普及及び啓発、基準の作成、情報の収集・分析及び提供、展示会の開催、人材の育成、内外関係機関との交流及び協力、ソフト・ハード・出版物の制作・販売等、本協会の目的を達成するために必要な事業を実施しました。

平成 24 年度は創立 60 周年を迎え、記念事業を行うと共に、日本オーディオ協会が創立された理念に立ち返り、今一度「感動創出」に向けた活動強化が必要ではないかと云う提起を「中期事業検討委員会」で行いました。それには再度、技術的見地によるバックボーンが必要であるとの見解で「放送・通信・新音源検討委員会」及び「技術会議」を新設しました。これらを基軸に協会設立の理念である「良い音を、良い環境で」を基本方針に普及・啓発活動を推進しました。平成 24 年度に実施した主たる事業は、定款第 4 条各号に沿った通りであります。

(第 1 号) オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究

オーディオ文化と業界の健全なる成長の為に、より技術的な観点から技術トレンドを見極め、すべてのオーディオ関連分野に於いて、クオリティの追求と健全なる企業活動の両立を実現するための側面的支援の一環として技術会議を立ち上げました。当面のテーマとして再生音の定位を取り上げ、ヘッドホン使用における頭内定位問題の検討を始めました。また、ソフト・ハード各社から構成される BDM 研究会を立ち上げ、「ブルーレイディスク(BD)フォーマット」の音楽使用の普及に努めました。

(第 2 号) オーディオ等に関する普及及び啓発

5 月 1 日の「サラウンドの日」には日比谷図書館にて「ホームシアター体験会」を開催。その後も協会にてホームシアターセミナーを 3 回開催し、ホームシアターの普及啓発活動をしました。「音の日」には「音の匠」の顕彰を通じて音の世界の素晴らしさを認識していただくための活動を行いました。「オーディオ・ホームシアター展（音展）」では協会主催の各種セミナーや生録会、青少年向けの啓発活動を実施しました。音展期間中「音のサロン」では良い音楽を良い再生環境で楽しむためのライフスタイル提案を行ないました。

(第 3 号) オーディオ等に関する基準の作成

一般社団法人電波産業会 スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班が策定した、デジタルテレビ放送における番組の全体的な音声レベルをコントロールし、音声レベルを最適化する「デジタルテレビ放送におけるラウドネス運用規定の国内標準化」を、「60 周年記念式典表彰」にて協会大賞として表彰し、健全な視聴環境作りに協力しました。

(第 4 号) オーディオ等に関する情報の収集・分析及び提供

会報 JAS ジャーナルを隔月で 6 冊発行しました。更に、音の日 12 月 6 日には 60 周年記念特別号（通巻 419 号）を印刷物として発行しました。JAS ホームページでは JAS ジャーナルの配信、音展関係を含めて年間約 70 万ページビューの利用がありました。ホームシアターサウンド Web はホームシアター普及に向け、より具体的な情報を提供するサイトとして運営し、年間約 45 万ページビューの利用がありました。

(第 5 号) オーディオ等に関する展示会及び啓発に関する催事の開催

「オーディオ・ホームシアター展（音展）」を平成 24 年 10 月 19 日～21 日に秋葉原 UDX と富士ソフトアキバプラザにて開催しました。出展社数 82 社、来場者数 27,500 名とこれまで 4 回の秋葉原での開催の中で最高を記録しました。多くの方々にオーディオ等の最新情報の提供や視聴体験 機会、セミナーを実施しました。

(第 6 号) オーディオ等に関する人材の育成

ホームシアター市場の健全な普及に向け、ホームシアター関連の販売従事者、建築士、インテリアコーディネーター、インストーラー等に役立つデジタルホームシアター構築のガイドライン作成と人材

の育成のための「デジタルホームシアター取り扱い技術者」資格認定講座を平成 22 年より開催し、平成 24 年度には 6 回開講し今までに 110 名の合格者を認定しました。

(第 7 号) オーディオ等に関する内外関係機関との交流及び協力

第 19 回日本プロ音楽録音賞を関連団体と共催し、最優秀 3 作品と優秀 10 作品の合計 13 作品の録音エンジニアとベストパフォーマーを「音の日」に表彰しました。

(第 8 号) オーディオ等に関するソフト、ハード及び出版物の制作及び販売

オーディオエンジニア及び一般カスタマーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD 等の販売を行いました。また、60 周年記念事業として「音でたどるオーディオの歴史」CD（非売品）を制作し、JAS ジャーナル 60 周年記念特別号の特別付録として配布しました。

平成 24 年度事業概要

1. オーディオ等に関する、ソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究（定款第 4 条第 1 号）

1.1. 技術会議（中西 康之 委員長、寺本 浩平 委員長代行ほか 8 名）

◇ 技術会議開催経緯（3 回開催）

・平成 25 年 1 月 17 日、2 月 14 日、3 月 26 日

◇ 活動内容：

- ・音楽再生環境の向上へ向けた取り組みの一環として Headphone 再生の問題提起を行い、問題解決のニーズを喚起することを趣旨に技術会議を立ち上げました。
- ・H24 年度は準備段階として、試聴会による頭内定位問題の認識共有とステアリングコミッティーを立ち上げ、課題の整理と技術会議としての目標設定を行った。平成 25 年度に課題の顕在化（論文作成）と音展等での啓発活動を行っていく。

1.2. BDM 研究会

BDA と共にブルーレイディスク(BD) フォーマットにおける音楽用活用拡大を目的に BDM 研究会を立ち上げた。

◇ 研究会開催経緯:6 月 22 日開催、20 社、3 団体、30 名が参加

◇ 主要活動内容

- ・オーディオ・ホームシアター展 にてセミナーを開催
- ・JAS ジャーナル平成 24 年 7 月号に紹介記事を掲載。筆者はエイベックス・エンタテインメント株式会社 古沢 賢太郎 氏、ソニー株式会社 照井 和彦 氏、バーニー・グランドマン・マスタリング 前田 康二 氏
- ・11 月 21 日に BDA にて報告会を開催。麻倉 怜士 氏と校條 亮治 会長から BDM 状況報告がされた。

2. オーディオ等に関する普及及び啓発（定款第 4 条第 2 号）

2.1. 60 周年記念事業（森 芳久 委員長 ほか 12 名）

◇ 60 周年記念事業検討委員会開催経緯（3 回開催）：

・4 月 27 日、8 月 31 日、11 月 7 日

◇ 主要活動内容：

60 周年記念事業として下記 4 事業を行った。

- ① 「60 周年記念誌（JAS ジャーナル特別号）」発刊・配布
- ② 「60 周年記念 CD」の制作と配布
- ③ 「60 周年記念・音の歴史館」の開設
- ④ 「60 周年記念式典」開催と「記念表彰」の実施

2.2. 60 周年記念表彰委員会（校條 亮治 会長ほか6 名）

“日本オーディオ協会賞”は、「技術進化の早い電子機器において、5 年毎にオーディオ技術の開発、及び、実用化に大いに貢献した個人、または組織の顕彰を行う」を主旨とし、さらに「10 年ごとに
行う“功績・功労賞”とは分けて行う」とされており、今年は 60 周年として同時に顕彰した。

- ・ 協会栄誉賞：「音響機器、及びデジタルオーディオ分野の開発と実用化を先導し、オーディオ産業と文化の向上に貢献」
ビフレストック株式会社 取締役会長 元日本オーディオ協会会長 中島 平太郎 氏
- ・ 協会大賞：「残響制御技術 Revtrina の開発と実用化」
日本電信電話株式会社、NTT ラーニングシステムズ株式会社
NTT エレクトロニクス株式会社
- ・ 協会大賞：「デジタルテレビ放送におけるラウドネス運用規定の国内標準化」
一般社団法人電波産業会 スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班
- ・ 協会賞：「国内オーディオ文化の夢を創造」
アキュフェーズ株式会社 代表取締役社長 齋藤重正
- ・ 協会賞：「卓越した経営により新たなオーディオ市場の開拓」
株式会社オーディオテクニカ 代表取締役社長 松下 和雄 氏
- ・ 協会賞：「国内オーディオ市場の活性化」
ラックスマン株式会社 代表取締役社長 土井 和幸 氏
- ・ 協会賞：「若年層を含めた新たなオーディオ市場の開拓」
株式会社トライオード 代表取締役社長 山崎 順一 氏
- ・ 協会賞：「リスニングルーム設計研究と施工の実践活動」
石井オーディオ研究所 代表 石井 伸一郎 氏
- ・ 協会賞：「サラウンドサウンドにおける、スピーカー配置の検証と国内ガイドラインの設定」
有限会社沢口音楽工房 代表 沢口 真生 氏
- ・ 功労賞：「協会運営に対する改革と貢献」
西 國晴 氏、平林 正稔 氏、山本 喜則 氏
- ・ 功労賞：「協会活動に対する貢献」
倉持 誠一 氏、森 芳久 氏、渡邊 哲純 氏
- ・ 感謝状：「展示会への出店とホームオーディオとの親和性に貢献」
三菱電機株式会社三田製作所、富士通テン株式会社、パイオニア販売株式会社
- ・ 感謝状：「オーディオ若年層の新規開発に貢献」
S'Next 株式会社
- ・ 感謝状：「健全な国内ホームシアター市場の普及に貢献」
デジタルホームシアター普及委員会
- ・ 感謝状：「生録等オーディオの新たな楽しみ方提案による新市場開発に貢献」
録音機器・技術普及委員会
- ・ 感謝状：「再生音楽の楽しさを提案実演し、ビギナーからマニアに至るファン層の拡大に貢献」
音のサロン委員会

2.3. 「音の日」記念行事（「音の日」実行委員会 森 芳久 委員長 ほか9 名）

◇ 「音の日」実行委員会開催経緯（3 回開催）：

- ・ 4 月 27 日、8 月 31 日、11 月 7 日

◇ 第 17 回 「音の匠」顕彰式

- ・ 第 17 回になる平成 24 年度は、福祉工学を活用することで健常者のみならず軽度の聴覚障害のある方々にも的確に警報を伝え、迅速かつ着実な避難行動につながる緊急地震警報を開発された、東京大学名誉教授 伊福部 達 氏を「音の匠」として顕彰した。

- ・また、初期のエジソンの蓄音機からアコースティック録音全盛時代の蓄音機、蝋管やSPレコードなどを多数収集し、今日もそれらを当時のままに再生することでオーディオ・音楽の奥深さを伝えてこられた、金沢蓄音器館館長 八日市屋 典之 氏を「音の匠特別功労賞」として顕彰した。電波新聞社社長 平山 哲雄 氏より受賞者に記念品が贈呈された。

◇ 「音の日のつどい」パーティ 12月6日（月）港区 アジュール竹芝 参加者 200名

- ・音の匠、日本プロ音楽録音賞受賞者を祝し、交流パーティを日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構ミュージックピープルズネストの共催で実施。

2.4. デジタルホームシアター普及委員会（鈴木 弘明 委員長ほか 20名）

◇ 委員会開催経緯（9回開催）

- ・4月17日、5月24日、6月12日、8月2日、9月25日、11月1日、2月14日、1月29日、2月20日

◇ 主要活動内容

- ・ホームシアター市場の健全な普及に向け、「取扱技術者資格認定講座」を実施し、適切な技能を持った技術者の養成を行うためのカリキュラムの策定や教材の検討を行った。
- ・オーディオ・ホームシアター展において下記協会セミナーを実施。毎回立ち見が出るほどの好評で、延べ400名ほどのユーザーが参加した。
 - 10月19日 富士ソフト 5F アキバホール
 - ホームシアターの音を100倍楽しむ方法：ルームチューニング
 - ホームシアターの映像を100倍楽しむ方法：映像キャリブレーション
 - 10月19日、20日、21日 UDX2階 特設会場：ホームシアター体験会（ミニセミナー）
 - ここまでできる音場補正
 - 今の映像に満足ですか？
 - ITU-R 配置は絶対か？
 - 部屋も変えれば音も変わる

2.5. サラウンドサウンド部会（小谷野 進司 主査 ほか 12名）

◇ 部会開催経緯（11回開催）

- ・4月13日、5月17日、6月13日、7月18日、9月14日、10月3日、10月26日、12月12日、1月16日、2月8日、3月8日

◇ 主要活動内容

- ・日比谷図書館にて5月1日「サラウンドの日」関連行事として「ホームシアター体験会」を開催。また、協会を会場に6月30日、9月22日、11月17日の3回、ホームシアターセミナーを開催、多くの方々にサラウンドサウンドの素晴らしさを体験していただいた。
- ・サラウンドサウンドのさらなる普及を目指し、JEITA と共同でホームシアターサウンドサイトを運営、年間約45万ページビューがあった。

2.6. 録音機器・技術普及委員会（岩出 和美 委員長 ほか 9名）

◇ 委員会開催経緯（6回開催）

- ・1月23日、5月11日、7月4日、9月4日、2月6日、3月15日

◇ 主要活動内容

- ・10月21日に「オーディオ・ホームシアター展」内のイベントとして、46人編成のブラスバンドによる演奏会・録音体験会を開催。2回の演奏会・録音体験会で、事前申し込み者89名（1回目：46、2回目：43名）に加え、当日申込み12名あり、合計101名の録音体験参加となった。演奏会へのリスナー参加は、150名弱の参加があった。

- 演奏者：プロアマ特別編成のワнтаイム吹奏楽団「アトラクティブ・ウインド・オーケストラ」
- 指揮者：中野 和彦 氏、バンドマスター：石井 慎太郎 氏（トランペット）

2.7. オーディオ・ホームシアター展における協会主催イベント

☆ 工作教室：10月20日、21日開催

- ・高級イヤホン組み立て教室：40名
- ・「エコー付きカラオケアンプ（ハンダ付けあり）」を作ろう：8組16名

☆ 音のサロン：10月19日、20日、21日開催

- ・会員会社11社により構成される「音のサロン委員会」が企画し、「良質の再生音楽を良質の再生環境で楽しんでもいただくライフスタイルの普及」を目指し、富士ソフトアキバプラザ7階会場で「音のサロン」を開催。3日間で1000名を超えるお客様が来場され大好評でした。開催された10のプログラムは下記の通り：

- ☐ 最新最高音質の配信音楽を聴く（パート1）
 - ・講師： オンキヨーエンターテインメントテクノロジー(株)黒澤 拓 氏
(有)エフ 藤田 厚生 氏
- ☐ 真空管アンプでアナログレコードの名演を聴く
 - ・講師： 音楽プロデューサー 伊藤 八十八 氏
- ☐ Female Vocal（高橋真梨子・岩崎宏美）を聴く
 - ・講師： テイチクエンタテインメント プロデューサー 湯田 淳一 氏
ビクターエンタテインメント 販売促進グループ 前田 格 氏
- ☐ シャンソンとフランス文化の楽しみ
 - ・講師： 元FM fan 編集長 小林 俊彦 氏
- ☐ 最新高音質配信音楽を聴く（パート2）
 - ・講師： (株)クリプトン オーディオ事業部長 渡邊 勝 氏
(株)カメラータ・トウキョウ 中野 浩明 氏
- ☐ 高音質CDからHD-soundまでの音質の進化
 - ・講師： ビクターエンタテインメント 鈴木 順三 氏
- ☐ 1920年代に生まれた名出力管250プッシュプル・アンプで聴くWE594
 - ・講師： 真空管オーディオ協議会 評論家 新 忠篤 氏
- ☐ 学生による楽しいクラシック・ディスクコンサート
 - ・講師： 東京大学・早稲田大学古典音楽愛好会 新津 健一郎 氏他2名
- ☐ 最新PCオーディオ試聴会
 - ・講師： JAS 音のサロン委員会委員
- ☐ 価格帯別コンボの魅力を探る
 - ・講師：オーディオ・ビジュアル評論家 麻倉 怜士 氏

2.8. 青少年向け普及活動

- ☆ 子供のころから音に親しみオーディオに関心を持ってもらう目的で、オーディオ・ホームシアター展（10月21日）にて小・中学生を対象に実施した。テーマは「エコー付きカラオケアンプ（ハンダ付けあり）組み立て」。8組16名の親子が参加した。協力：秋葉原駅前商店街振興組合

2.9. 音のサロン委員会（高松 重治 委員長 ほか10名）

☆ 委員会開催経緯（9開催）

- ・4月10日、5月15日、6月5日、6月26日、8月23日、10月2日、2月20日、2月27日、3月28日

☆ 試聴体験WG開催経緯（2回開催）

・5月25日、1月30日

☆ PC ディオ WG 開催経緯 (2 回開催)

・4月24日、11月22日

☆ 主要活動内容

・「日比谷音のサロン」(3 回開催) 9月27日、11月28日、3月12日

➤ 日比谷図書館、レコード協会、オーディオ協会の 3 者の共催で毎回異なる音楽のテーマを決め、講師を招き実施。機材は「音のサロン委員会」企業製品を選択。定員 60 名のところ毎回事前(予約制)に満員になり大盛況であった。各回の内容は下記:

□ 第1回 9月27日 「ビートルズを聴く」講師:高嶋 弘之 氏

□ 第2回 11月28日 「音楽の歴史～ソフトとハードの変遷～」講師:麻倉 怜士 氏

□ 第3回 3月12日 「エルビスプレスリーを聴く」講師:萩原 健太 氏

・「音展ー音のサロン」10月19～21日の音展期間中に開催。

□ 詳細は2.5.項の「オーディオ・ホームシアター展における協会主催イベント」参照のこと

・「PC オーディオ講座」(4 回開催)

□ 入門講座: 6月16日、8月25日、10月7日(真空管フェア内で)

□ 通常講座: 1月26日

➤ 各社のハード/ソフトを組み合わせ、講師も各社持ち回りで開催。熱心なユーザーが多く、立ち上がり始めた市場でもあり、技術面/使用面での混乱が多く、これらの課題に対して判り易く解説、デモを行った。定員は各回 20 名としているが毎回すぐに予約が一杯になり、遠方からもの受講者も参加された。

3. オーディオ等に関する基準の作成 (定款第4条第3号)

☆ 一般社団法人電波産業会 スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班が策定した、デジタルテレビ放送における番組の全体的な音声レベルをコントロールし、音声レベルを最適化する「デジタルテレビ放送におけるラウドネス運用規定の国内標準化」を、「60 周年記念式典表彰」にて協会大賞として表彰し、健全な視聴環境作りに協力しました。

4. オーディオ等に関する情報の収集及び提供 (定款第4条第4号)

4.1. JAS ジャーナル誌の発行とホームページによる情報提供

☆ 会誌「JAS ジャーナル」を5月17日、8月2日、9月26日、11月21日、1月25日、3月28日に刊行した。また、「60 周年記念誌 (JAS ジャーナル特別号)」を音の日12月6日に発刊した。

☆ 編集委員会開催経緯 (4 回開催) (君塚雅憲委員長ほか 9 名)

・6月15日、9月7日、1月16日、3月7日

☆ JAS ジャーナルの主なテーマ

・平成24年5月号 配信事業者からみた PC オーディオとネットワークオーディオ ほか合計6件

・平成24年7月号 平成24年度 サラウンドの日 体感視聴会 報告 ほか合計7件

・平成24年9月号 オーディオ市場の活性化を目指して ほか7件

・平成24年11月号 「オーディオ・ホームシアター展」見聞記 ほか7件

・平成24年12月 60 周年記念号 協会創立 60 周年を迎えて想う ほか7件

・平成25年1月号 ルームチューニングの方法教えますホームシアターの音を 100 倍楽しむ方法 ほか合計11件

・平成25年3月号 平成24年度年度 第17回「音の匠」顕彰について ほか7件

4.2. 協会ホームページの運用 (<http://www.jas-audio.or.jp/>)

☆ JAS ジャーナル 6 冊の記事と 50 件のイベント紹介等のトピックスニュースを掲載し、音展ホームページを含め、年間約 70 万ページビューの利用があった。

4.3. ホームシアターサウンドホームページの運用 (<http://hometheater-s.jp/>)

- ◇ ホームシアターユーザー開拓に向けてより分かり易いホームシアターの提案を行なうサイトとしてサラウンドサウンド部会と JEITA サラウンドサウンド専門委員会が協力して運用し、年間約 45 万ページビューの利用があった。

5. オーディオ等に関する展示会の開催 (定款第 4 条第 5 号)

5.1. オーディオ・ホームシアター展 の開催

- ◇ 平成 24 年 10 月 19 日～21 日の 3 日間、前年度に引き続き秋葉原 UDX アキバスクエアと、富士ソフトアキバプラザにおいて「オーディオ・ホームシアター展」を開催した。秋葉原 UDX 会場は総合展示場として富士ソフトアキバプラザ会場は試聴聴会場として 5～7 階を使用し、出展企業のオーディオ・ビジュアル最新情報と機器が披露された。
- ◇ オーディオ協会主催イベントとして「デジタルホームシアターセミナー」、「音のサロン」、「生録会」、「工作教室」等の開催と、協会主催ブースとして「PC オーディオ」、「ネットオーディオ」、「モバイルオーディオ」といった、最新オーディオ情報と機器を展示してオーディオ・ホームシアターの普及・啓発活動を行なった。
- ◇ 「オーディオ・ホームシアター展」出展社及び来場者
 - ・出展社:82 社 協賛・協力社数:38 社・団体 来場者数:27,500 人
- ◇ 実行委員会開催経緯 (10 回開催) (実行委員会 加藤 滋 委員長 ほか 7 名)
 - ・ H24 年度開催向け: 4 月 19 日、5 月 22 日、6 月 28 日、7 月 26 日、9 月 19 日
 - ・ H25 年度開催向け: 11 月 5 日、11 月 21 日、11 月 28 日、1 月 29 日、3 月 21 日
- ◇ 出展社募集説明会: 3 月 15 日 36 社 41 名出席
- ◇ ホームページ運用開始: 3 月 16 日
- ◇ 展示装飾説明会: 7 月 31 日 35 社 40 名出席
- ◇ 記者発表会: 7 月 31 日 20 社 23 名出席

6. オーディオ等に関する人材の育成 (定款第 4 条第 6 号)

6.1. 「デジタルホームシアター取り扱い技術者資格認定制度」集中講座の実施

- ◇ ホームシアター市場の健全な普及に向け、ホームシアター関連の販売店員、建築士、インテリアコーディネーター、インストーラー等を対象に「取扱技術者資格認定講座」を実施
 - ・インストラクターコース(3 級):第 4 回(6 月 19 日・20 日)、第 5 回(11 月 13 日・14 日)
 - ・スペシャリストコース(2 級):第 4 回(8 月 21 日・22 日)、第 5 回(1 月 22 日・23 日)
 - ・カスタムインストーラーコース (1 級):第 1 回 (5 月 29 日・31 日)、第 2 回 (3 月 12 日・14 日)
- ◇ 平成 22 年 9 月の講座開始から平成 25 年 3 月までに延べ 110 名を認定した。

7. オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力 (定款第 4 条第 7 号)

7.1. 日本プロ音楽録音賞の共催

- ◇ 第 19 回日本プロ音楽録音賞を日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構ミュージックピープルズネストとの共催で実施した。91 作品の応募があり、審査で選ばれた最優秀 3 作品と優秀 10 作品の合計 13 作品の録音エンジニアとベストパフォーマーの受賞者を音の日の 12 月 6 日 竹芝 ホテルアジュール竹芝にて表彰した。
- ◇ 「第 19 回日本プロ音楽録音賞」受賞作品一覧
 - 部門 A 「2ch パッケージメディア」クラシック、ジャズ等 応募総数 19 作品
 - ・最優秀賞 「「for me」より「Save the Dream」
 - 松下 奈緒 株式会社 EPIC レコードジャパン(ESCL3870) CD
 - ・優秀賞 「TRICOROLL」より「The Sidewinder」
 - 渡辺 香津美 株式会社イーストワークスエンタテインメント(EWBS0184) CD

- ・優秀賞 「Tomorrow」より「Tomorrow」
Woong San 株式会社ポニーキャニオン(PCCY-30197) CD
- ・ベストパフォーマー賞 「Alone kaleidoscope by Solo Piano」より「Restoration」
Bob James Harman International Japan CO Ltd (TZEE-0001) CRYSTAL DISC
- ・新人賞
 - ・「Home」より「Deep Impact」 村井 秀清 CRESCENTE (CRSA1010) CD
 - ・「RADIO STAR HEROES」より「雨に泣いている」 duet with 柳 ジョージ 鈴木聖美
株式会社ティチクエンタテインメント (TECG-24067) CD
- 部門 B 「2ch パッケージメディア」ポップス、歌謡曲等 応募総数 33 作品
- ・最優秀賞 「カサリズム」より「感謝」
カサリンチュ Ariola Japan Inc.(BVCL-415) CD
- ・優秀賞 歌謡曲」より「逢いたくて 逢いたくて」
一青 窈 株式会社フォーライフミュージックエンタテイメント(FLCF-4423) CD
- ・優秀賞 「ITALIAN GARDEN」より「京都野郎」
CRAZY KEN BAND ユニバーサルミュージック合同会社(UMCK-1409) CD
- 部門 C サラウンドパッケージメディア (マルチ c h) 応募総数 3 作品
- ・最優秀賞 今年度対象作品該当なし
- ・優秀賞 「小澤征爾指揮 水戸室内管弦楽団 2012～チェロ独奏 宮田 大～」より「ハイドン：
チェロ協奏曲第1番ハ長調 Hob.VIIb-1 第2楽章 II.Adagio」
指揮：小澤 征爾 演奏：水戸室内管弦楽団 チェロ独奏：宮田 大 株式会社NHK エンター
プライズ(NSBS-17531) Blu-ray Disc
- ・
- 部門 D 「放送メディア」放送作品部門 応募総数 27 作品
- ・最優秀賞 「2011 サイトウ・キネン・フェスティバル松本」より「チャイコフスキー 交響曲第
4番 第4楽章」
指揮：ディエゴ・マテウス 演奏：サイトウ・キネン・オーケストラ 長野朝日放送株式会
社 HDTV 5.1ch 平成 23 年 12 月 23 日放送
- ・優秀賞 「ブラボー！オーケストラ」より「ハイドン 交響曲 第55番 変ホ長調 校長先生」
指揮：下野 竜也 演奏：オーケストラ・アンサンブル金沢 NHK FM stereo 2012 年
9 月 16 日放送
- ・優秀賞 「僕らの音楽」より「Life is Beautiful」
藤井 フミヤ 株式会社フジテレビジョン HDTV stereo 平成 24 年 7 月 13 日放送
- 2ch オーディオ・ファイル賞 応募総数 9 作品
- ・「クラヴィオルガン・ワンダーランド」より「J.S.バッハ：トッカータとフーガ ニ短調
BWV565」
クラウディオ・ブリツィ フォーマット 176.4/24 株式会社クリプトン (HQMD-10028)

7.2. 後援・協賛名義の使用承認

- ・リフォーム&インテリア 2012
- ・CEATEC JAPAN 2012
- ・第 18 回真空管オーディオフエア
- ・Inter BEE 2012
- ・オーディオフエスタ・イン・ナゴヤ 2013 (平成 25 年 2 月開催)
- ・日本放送協会放送文化賞・第 64 回 (平成 24 年度)

8. オーディオ等に関するソフト、ハード及び出版物の制作及び販売（定款第4条第8号）

◇ オーディオエンジニア及び一般ユーザーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD-Video 等の販売を行った。

・平成24年度頒布数合計：116枚

・主な内訳

CD-1 Audio Test 95枚、DVD-V1 Audio Check (DVD) 14枚、UNACD-07-01 2枚、
COGQ-28 1枚、COCQ-84695 3枚、AES 001～003 1組

◇ 60周年記念事業の一環として60周年記念CD（非売品）の制作と配布を行った。

9. 総務事項

9.1. 通常総会

・日時：平成23年6月7日（木） 13：30～15：00

・場所：東京中央区 銀座ブロッサム

・出席者数：正会員 240名（委任状出席者を含む）

・議事：

第1号議案 平成23年度事業報告・決算報告ならびに監事監査の承認を求める件

第2号議案 平成24年度事業計画・収支予算について

第3号議案 法人正会員の年会費の値上げ案の承認を求める件

第4号議案 役員報酬の総額を定める案の承認を求める件

第5号議案 役員改選案の承認を求める件

9.2. 理事会及び運営会議

・第1回 日時：平成23年5月23日（水）15:00～17:30

場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：11名

・第2回 日時：平成23年6月7日（木）15:00～15:30

場所：中央区銀座 銀座ブロッサム 出席者数：15名

・第3回 日時：平成23年9月12日（水）14:00～17:00

場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：14名

・第4回 日時：平成23年12月6日（木）13:30～14:20

場所：港区 アジュール竹芝 憩の間 出席者数：15名

・第5回 日時：平成24年2月1日（水）15:00～17:30

場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：13名

・第6回 日時：平成24年3月27日（水）15:00～17:30

場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：13名

9.3. 監事監査

日時：平成24年5月16日（木）14:00～16:00

場所：日本オーディオ協会会議室

9.4. 登記事項 平成24年7月25日 役員登記

9.5. 平成24年度の会員数（平成25年3月31日現在）

法人会員 正：22社、7団体、賛助：21社

個人会員 一般：226名、シニア：114名、学生：2名、会友：45名

合計387名

9.6. 平成 24 年度の役員数（平成 25 年 3 月 31 日現在）

理事 19 名（うち会長兼専務理事 1 名、副会長 3 名）、監事 2 名

9.7. 平成 24 年度の職員数（平成 25 年 3 月 31 日現在）： 4 名（うち業務委託 2 名）

9.8. 表彰等

◇ 音の匠：

- ・「音の匠」：東京大学名誉教授 伊福部 達氏
- ・音の匠特別功労賞：金沢蓄音器館館長 八日市屋典之氏

◇ 60 周年記念表彰：

- ・協会栄誉賞：1 件、協会大賞：2 件、協会賞：6 件、功労賞：2 件、感謝状：4 件の計 15 件を表彰

◇ 日本プロ音楽録音賞

- ・最優秀 3 作品と優秀 10 作品の合計 13 作品の録音エンジニアとベストパフォーマーを表彰

9.9. 音の日のつどい

- ◇ 日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構ミュージックピープルズネストとの共同で実施
- ・平成 24 年 12 月 6 日（木） 港区 アジュール竹芝
- ・参加 200 名

9.10. 中期事業計画検討委員会（加藤 滋 委員長ほか 13 名）

- ◇ 技術・事業 WG：4 月 5 日
- ◇ 理事会答申：5 月 23 日
- ◇ 総会承認：6 月 7 日

以 上